

## 第59巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	ハーセプチン 他
第一三共 (株)	オルメテック/レザルタス	エーザイ (株)	パリエット
グラクソ・スミスクライン(株)	パキシル	(株) ジェイ・エム・エス	
興和創薬 (株)	リバロ	大塚製薬 (株)	ムコスタ
(株) 大塚製薬工場	エルネオパ	塩野義製薬 (株)	サインバルタ
シーメンス・ジャパン (株)	LUMINOS session	大鵬薬品工業 (株)	アロキシ
武田薬品工業 (株)	プロプレス 他	田辺三菱製薬 (株)	タリオン
(株) ツムラ	六君子湯	(株) ヤクルト本社	カンプト 他

(ABC順)

## 編集委員会

編集長：並木 温

編集委員：金子弘真 佐地勉 杉山篤

周郷延雄 高橋寛 高橋啓

津熊久幸 瓜田純久 (ABC順)

## 編集後記

10月末に東京慈恵会医科大学(慈恵医大)で第4回日本安定同位体・生体ガス医学応用学会が開催され、2日間を慈恵医大で過ごした。本学会は昭和60(1985)年に東邦大学第2生理学教室の故平野修助先生(元学長)が中心となって発足された<sup>13</sup>C医学応用研究会が母体となり、平成21(2009)年から学会となった歴史をもつ。現在、総合診療・救急医学講座が事務局となっており、本学と深い繋がりがある。

慈恵医大はご存じの通り、脚気を発見した高木兼寛が明治14(1881)年に設立した成医会講習所が発展したものであり、130年余りの歴史をもつ。慈恵医大の待合室には大きな高木の肖像画が掲げられ、「病気を診ずして、病人を診よ」の理念が掲示されている。高木は詳細な疫学調査によって、脚気の原因を明らかにしたが、森鷗外など東京大学医学部から論拠のない批判を浴びた。しかし、海軍の航海実験などで成果をあげ、疫学の父と呼ばれるまでとなった。数字を正當に、私心なく評価する高木の姿勢は後のビタミン発見で漸く陽の目を見ることとなる。

高木の面影を捜して慈恵医大とその周辺を散策(散酒?)していた。

学会は外科学講座の中田浩二講師が会長を務め、学長、

外科部長、そして外科のOBたちが大勢来場し、本会から懇親会まで大盛況であった。130年の歴史と、慈恵魂をしみじみと実感した。OBたちの温かい眼差しが印象的であり、最初はまったく振り向かれなかった脚気栄養説を地道に治療に結びつけていった高木のように、小さな学会を育てようという大きな心に溢れた学会であった。

本号には肝細胞癌の診断、腔内菌叢、人工関節に関する原著が収載されている。これらの論文に続く論文はいつごろ、どんな雑誌に掲載されるのであろうか?本誌は学位論文掲載も大きな役割であるが、筆者たちがさらに大きく発展するように、そして次の論文へと高い意識を持てるような論文審査を行うことが大きな役割と思われる。筆者たちの次報にも期待したい。

(瓜田純久)

## 東邦医学会雑誌 第59巻 第6号

平成24年11月1日発行

編集兼  
発行人 並木 温〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号  
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎

## 訂正

以下のとおり訂正致します。

第59巻第3号 CONTENTS 2頁目 上から8行目

誤: Kawabe S → 正: Kawabe K